

平成30年2月15日定例教授会議事抄録

出席者

梶屋所長

板倉、大木、黒田、菅、園田、長澤、中島、名和、平勢、松田、真鍋、安富の各教授

池亀、額定其芳、藏本、小寺、鍾、馬場、古井、森本の各准教授

海外渡航者

佐藤教授、米野准教授

議事

2月1日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 資料P4のとおり1件
2. 各種研究助成等の募集について 資料P5のとおり1件

報告事項

3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 拡大入試監理委員会（2月13日）

資料P6に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

2) 未来社会共創推進本部（2月13日）

資料P7～9に基づき、文部科学省卓越大学院プログラムについて、東文研も申請候補プログラム案に名を連ねていること等、概要について報告があり、今後動きがあれば随時報告していく予定であるとの発言があった。

3) 科所長会議（2月13日）

① 平成30年度理事等の分担

資料P11～13に基づき、平成30年度の理事等の分担について、説明があった。

② 東京大学基本組織規則第19条に定める全学委員会、第18条に定める室・本部及びその他の会議体の見直しに伴う関係規則等の整備

資料P14～16に基づき、全学委員会等の見直しが進められているとの説明があった。

③ 定量生命科学研究所設立準備委員会の設置

定量生命科学研究所設立準備委員会が設置されるとの報告があった。

④ 耐震改修工事の進捗に伴う今後の総合図書館の運用

資料P17～21に基づき、耐震改修工事の進捗に伴う今後の総合図書館の運用案について報告があった。

⑤ 教員及び退職教員アンケートの結果報告

平成29年9月に実施された教員及び退職教員アンケートの集計結果が公表された

との報告があり、詳細はポータルサイトから閲覧できるとの説明があった。

⑥ 社外取締役兼業の今後の取扱い

資料P 2 2～2 3に基づき、実験的取扱いとしてきた社外取締役兼業について、今後の取扱いが示されたとの報告があった。

⑦ 国立大学法人会計セミナーの実施

資料P 2 4に基づき、3月5日（月）に実施される国立大学法人会計セミナーについて案内があった。

4) 研究担当理事等と科所長会議出席者メンバーとの懇談（2月13日）

同懇談での概要について報告があった。

5) 平成30年度日本学術振興会特別研究員の受入れについて

資料P 2 5に基づき、平成30年度日本学術振興会特別研究員として5名の受入れを予定している旨報告があった。

森本准教授より、資料の他、育志賞受賞者を特別研究員として受入予定であるとの追加説明があった。

6) 教員の海外渡航について（報告）

資料P 2 6～2 7のとおり5件を承認した旨報告があった。

7) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P 2 8のとおり委員等4件を承認した旨報告があった。

8) その他

共同利用・共同研究拠点の予算削減を受けて、研究所長懇談会から総長へ具体的な金額を示した要望書を提出することとなったとの報告があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

松田委員長より、資料P 2 9～3 0に基づき平成29年度予算執行状況の報告があり、個人、委員会ともに適切な執行へ協力いただきたいとの要請があった。また、平成30年度予算案について、後程審議願いたいとの説明があった。

2) インフラ委員会

安富委員長より、平成29年12月14日の教授会の際に予告した正面玄関の階段下の改修工事について、工事後の様子について各教員へ情報提供要請があった。その後、工事後に転倒事故が起こったとの報告があったため、改めてインフラ委員会で対応策を検討することとした。

3) 情報・広報委員会

特になし

4) 研究企画委員会

特になし

5) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

6) 図書委員会

特になし

7) G J S委員会

園田委員長より、

- ① 日文研を中核としたコンソーシアムへの参加について意見交換を行っているとの説明があった。
- ② 平成30年度のサマープログラムの公募が始まり、協定校以外からも参加できるよう進めているとの報告があった。
- ③ 大学本部で対応していたG J Sのウェブサイトのメンテナンスを東文研で行うことになるため予算措置を含め対応を検討しているとの報告があった。

8) その他

榊屋所長より、平成30年度予算の2次配分ヒアリングの際の本部のコメントについて報告があった。

5. その他

土田事務長より、資料P 3 1～3 3に基づき科学研究費助成事業の管理・使用について説明があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

資料P 3 4のとおり1件が承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員不在のため代って榊屋所長より説明があり、資料P 3 5のとおり1件の受入れが承認された。

8. 香港大学との全学国際交流協定の更新について

園田教授より資料P 3 6～3 7に基づき提案があり、承認された。

9. 東京大学、北京大学、ソウル大学校、ベトナム国家大学ハノイ校の間における東アジア四大学フォーラムに関する全学協定の終結について

名和研究企画委員長から、資料P 3 8～3 9に基づき提案があり、承認された。

10. 特任研究員の採用について

榊屋所長より、回収資料に基づき1名の採用（新規）候補者について説明があり、承認された。

11. 教員の人事について

榊屋所長から、教員人事（部局内異動）について以下の提案があり、承認された。

大木教授 附属東洋学研究情報センター教授の兼務（免）

12. 教員の兼務について

榊屋所長から、

① 下記の教員の兼務に係る照会がきている旨説明があり、審議のうえ承認された。

連携研究機構ヒューマニティーズセンター：中島教授

② 来年度、理事に就任される羽田教授について、本研究所教員として兼務いただきたいとの提案があり、承認された。

13. 新規班研究について

該当教員より資料P 4 0～4 1 および回覧資料に基づき、新たな班研究の設置について説明があり、承認された。

14. 平成30年度研究計画について

名和研究企画委員長から、資料P 4 2～5 1に基づき、今年度からの変更点等を中心とした説明があり、本研究計画について次回教授会にて再度審議して、最終的に承認することとしたい旨説明があり、了承された。

15. 学内委員の委嘱について

梶屋所長から資料P 5 2に基づき提案があり承認された。また、大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構運営委員会について口頭にて提案があり、審議の結果、継続で佐藤教授、新規で名和教授を推薦することが承認された。

16. 平成30年度所内予算案について（2回目）

松田財務委員長より、資料P 5 3～5 9に基づき、予算配分案について前回教授会からの変更点はない旨の説明があり、審議の結果、承認された。

17. その他

特になし

以上